

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会
平成 27 年度 第 4 回プロジェクト委員会
議事録

日 時 : 平成 28 年 1 月 29 日 (金) 午後 17 時 50 分 ~ 18 時 40 分
場 所 : パレスサイドビル・マイナビルーム 2F Y 会議室

出席者 : 吉田宗人 (理事)、山下敏彦 (委員長)、持田譲治 (アドバイザー)、高橋和久 (アドバイザー)、田倉智之、川上 守、種市 洋、松山幸弘、西田康太郎、今釜 史郎、海渡貴司、井上 玄

以上、13 名

欠席者 : 波呂浩孝、伊東 学、宮腰尚久

以上、3 名

会の冒頭に持田理事長より、本プロジェクトの症例集積期間の終了にあたり、ご挨拶と田倉先生への感謝のお言葉が述べられた。また、事務局が田倉先生の教室状況に変更あり、2月の移行期間を経たのち、3月から大阪大学整形外科に移行することが確定した。

【 議 事 】

1. 症例登録状況推移報告

海渡先生より報告。合計 602 例が集積された。

2. 資料回収状況報告

海渡先生より報告。現在の試料回収状況は登録から第 3 期までが第 50%、第 6 期までが 38%である。

3. インセンティブ支払いについて

大学病院へは奨学寄付あるいは委任経理口座へ希望に応じ対応する。委任経理金のようなシステムのない病院の先生に対しては個人の支払いを行う。個人の支払いに関してはそれぞれ源泉徴収が必要となる。関連病院において病院規

定により、個人支払いが出来ない場合、支払いを断念するか、基幹病院への支払いとする。

4. 中間解析について

第14回日本脊椎脊髄病学会(徳橋泰明会長)において、2016年4月15日(金)の15時より、本プロジェクトに関するパネルディスカッションが行われることが報告された。田倉先生、厚労省・鈴木康裕技術総括審議官、山下先生、海渡先生が登壇することが確認された。パネルの冒頭に松山先生にスライドを用いて説明頂く予定となった。

5. 最終解析方法、公表について

田倉先生より、今後の方策に関する説明、ならびに各演者(田倉先生、山下教授、海渡)が発表内容に沿った解析結果を報告する。

第14回JSSRでの発表内容に関しては次回の本委員会で資料提示・議論することとなった。

公表に関しては田倉先生より、最初の論文は間違いのない全体像をまとめ、その後、層別化して細かい分析に関する論文を、誤解を招かぬよう戦略的にまとめた方が良く、今後の本委員会で議論を深めて頂きたい、との提言があった。

公表の形態に関しては、複数委員より、日本語、英語それぞれの必要性に関する発言があった。高橋先生、田倉先生より、まず英文紙で公表し、複数公表したところで、レビューのような形態で複数の英語論文を用途に合わせて日本語でまとめた方が良いのでは、との意見があった。

持田理事長より、今後、本プロジェクトで得られた結果を各製薬メーカーに提供する際には、個別に交渉し、慎重にプロモーションに使って頂くことになる旨の報告があった。

6. 次回以降の委員会日程に関して

次回：平成28年3月19日(土)15:30より、東京にて予定

文責：井上 玄